

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
【発行日】 令和 7 年 7 月 10 日(2025.7.10)

【公開番号】 特開 2021-144931(P2021-144931A)
【公開日】 令和 3 年 9 月 24 日(2021.9.24)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-045
【出願番号】 特願 2021-20437(P2021-20437)
【国際特許分類】
H 0 1 R 4/48(2006.01)
【F I】
H 0 1 R 4/48 A

10

【誤訳訂正書】
【提出日】 令和 7 年 6 月 30 日(2025.6.30)
【誤訳訂正 1】
【訂正対象書類名】 特許請求の範囲
【訂正対象項目名】 全文
【訂正方法】 変更
【訂正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

絶縁材ハウジング(19)と、母線部材(2)と、第1のクランプ脚部(6a)および第2のクランプ脚部(6b)と、を備えた導体接続端子(1)であって、前記第1のクランプ脚部(6a)および前記第2のクランプ脚部(6b)は、1つのクランプばね(3a、3b)に、またはそれぞれ異なるクランプばね(3a、3b)に配置され、前記第1のクランプ脚部(6a)および前記母線部材(2)は、クランプされる第1の導電体(17)のための第1のクランプ位置を形成し、前記第2のクランプ脚部(6b)および前記母線部材(2)は、クランプされる第2の導電体のための第2のクランプ位置を形成し、前記母線部材(2)は、互いに反対の側で対向する領域に第1の導体受け部(8a)および第2の導体受け部(8b)を有し、前記第1の導体受け部(8a)および前記第2の導体受け部(8b)は、接続部(8c)を介して互いに接続されており、前記第1の導電体(17)は、前記第1の導体受け部(8a)を介して第1の導体挿入方向(L1)へ、前記第2の導電体は、前記第2の導体受け部(8b)を介して第2の導体挿入方向(L2)へ、それぞれのクランプ位置に供給可能であり、前記母線部材(2)は、前記第1及び第2のクランプ位置を有する底部(12)と、上面(9)と、前記底部(12)を前記上面(9)に接続する互いに対向する2つの側面(13)と、を有する導体接続端子(1)において、前記第1の導体受け部(8a)および前記第2の導体受け部(8b)は周方向に閉じて構成されており、前記接続部(8c)は前記底部(12)内に少なくとも1つの切り抜かれた形態の凹部(14)を有し、

30

40

前記凹部(14)は、前記母線部材に係止縁部を提供し、前記絶縁材ハウジング(19)は、前記凹部(14)内に突出し、かつ、前記凹部(14)によって提供される前記底部(12)の開口を閉じることを特徴とする導体接続端子(1)。

【請求項 2】

前記母線部材(2)は、前記母線部材(2)に前記クランプばね(3a、3b)を取り付けるための取付要素(10a、10b)を有することを特徴とする、請求項1に記載の導体接続端子(1)。

【請求項 3】

前記取付要素(10a、10b)は、取付タブ(10a、10b)として構成されていることを特徴とする、請求項2に記載の導体接続端子(1)。

50

【請求項 4】

前記接続部（8c）の前記凹部（14）は、前記第1の導体受け部（8a）および前記第2の導体受け部（8b）の間の実質的に中央に配置されていることを特徴とする、請求項1から3のいずれか一項に記載の導体接続端子（1）。

【請求項 5】

前記凹部（14）は、前記2つの側面（13）に延びることを特徴とする、請求項1から4のいずれか一項に記載の導体接続端子（1）。

【請求項 6】

前記母線部材（2）は、前記第1の導体挿入方向（L1）および／または前記第2の導体挿入方向（L2）に垂直な断面において、U字型に構成されていることを特徴とする、請求項5に記載の導体接続端子（1）。

10

【請求項 7】

前記上面（9）は、V字型の導体上昇傾斜面として構成されていることを特徴とする、請求項1から6のいずれか一項に記載の導体接続端子（1）。

【請求項 8】

前記上面（9）は、前記第1の導体挿入方向（L1）および／または前記第2の導体挿入方向（L2）の断面において、V字型に構成されていることを特徴とする、請求項6に記載の導体接続端子（1）。

【請求項 9】

前記クランプばね（3a、3b）は、当接脚部（4a、4b）と、クランプ脚部（6a、6b）と、前記当接脚部（4a、4b）および前記クランプ脚部（6a、6b）の間に配置されたばねアーチ（5a、5b）と、を有し、前記クランプ脚部（6a、6b）は前記母線部材（2）に向かって延び、前記第1の導電体（17）および／または前記第2の導電体をクランプするためのばねクランプ縁部（7a、7b）を有することを特徴とする、請求項1から8のいずれか一項に記載の導体接続端子（1）。

20

【請求項 10】

前記導体接続端子（1）に、前記クランプされる第1の導電体（17）および／または前記クランプされる第2の導電体を位置決めするための導体ストッパ（21）が配置されており、前記導体ストッパ（21）は、前記凹部（14）の領域に配置されていることを特徴とする、請求項1から9のいずれか一項に記載の導体接続端子（1）。

30

【請求項 11】

前記導体ストッパ（21）は前記絶縁材ハウジング（19）に配置されていることを特徴とする、請求項10に記載の導体接続端子（1）。

【請求項 12】

前記絶縁材ハウジング（19）は、少なくとも前記導体ストッパ（21）の領域で透明であり、前記導体ストッパ（21）は前記絶縁材ハウジング（19）を通して視認可能である、請求項10または11に記載の導体接続端子（1）。

【請求項 13】

前記絶縁材ハウジング（19）に、検査開口部（22）が配置されており、前記検査開口部（22）は、前記クランプされる第1の導電体（17）に対して直交して延びておりおよび／または前記クランプされる第2の導電体に対して直交して延びており、前記絶縁材ハウジング（19）から前記母線部材（2）に向かって延びることを特徴とする、請求項1から12のいずれか一項に記載の導体接続端子（1）。

40

【請求項 14】

前記導体接続端子（1）は、操作レバー（20a、20b）を有し、前記操作レバー（20a、20b）は、前記第1のクランプ脚部（6a）および／または前記第2のクランプ脚部（6b）を変位させるために設置されていることを特徴とする、請求項1から13のいずれか一項に記載の導体接続端子（1）。

【請求項 15】

前記母線部材（2）は、前記操作レバー（20a、20b）の支持面を有することを特

50

徴とする、請求項 1 4 に記載の導体接続端子（１）。

10

20

30

40

50